

# 芸術科（書道）において育成すべき資質・能力の整理 （検討のたたき台）

平成28年2月23日  
教育課程部会  
芸術ワーキンググループ  
（第5回）資料1-1

## 個別の知識や技能 （何を知っているか、何ができるか）

## 思考力・判断力・表現力等 教科等の本質に根ざした見方や考え方等 （知っていること・できることをどう使うか）

## 学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの （どのように社会・世界と関わり よりよい人生を送るか）

・書を構成する要素とその表現効果の視点から、作品を深く理解したり、生活や社会の中での文字や書の働き、書の伝統と文化について書の特徴に即して理解したりすること

など

・感性を働かせて、意図に基づいた創造的な表現を構想し工夫するために、用具・用材の特徴を理解し、書の伝統に基づいた効果的な書表現の技能を身に付けること

など

・書によさや美しさを感じ、書を構成する要素とその関連から生み出される働きを捉えるなどして、感性を働かせながら、自らの思いや意図に基づいて作品を構想し、表現を工夫すること

など

・書を構成する要素とその関連から生み出される働きを捉えるなどして、書表現を創造的に味わったり、作品の価値を考えるなどして、文字や芸術としての書の伝統と文化について幅広く理解し、書に対する見方や考え方を広げたりすること

など

・書への関心・意欲・態度  
・感性  
・文字や書の生活や社会の中での働きや効用を考え、主体的に関わる態度  
・生涯にわたり書を愛好する心情  
・書の伝統と文化を尊重する態度  
・情操

など

書道  
高等学校

下線部は、表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要なもの